

「2人で挑んだいちごの世界 法人経営でチャンス掴め！」

(株) 莓遊園 (松山市)

代表取締役 向井 佑太 (24歳)

取締役 若宮 孝允 (27歳)

新規参入

新規参入



(向井)



(若宮)

1 就農の動機・理由

非農家出身だが、なんとなく農業に関心があった。進学した農業大学校での学びや研修を通して思いが具体化し、就農しようと思った (向井)。

非農家出身だが、子供のころから大好きだった自然に触れあえる仕事として農業を選んだ (若宮)。

2人とも農業大学校卒業後、いちご栽培農家で研修。安定した収益を上げられる品目として、高設いちごを選択。業務の効率化や今後の事業拡大のための資金繰りを見越し、研修中に息の合った二人でやるなら法人化との思いで、(株) 莓遊園を設立、営農を開始した。

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (平成30年)	現在の経営 (令和3年)	将来の経営 (令和6年)
労働力	男2人(両人)	男2人(両人)	男2人(両人)
経営耕地	畠 48a	畠 48a	畠 58a
経営内容	高設いちご 20a キャベツ等 28a	高設いちご 20a キャベツ等 28a	高設いちご 30a キャベツ等 28a

○農業用施設

パイプハウス

3棟 1000 m²

A Pハウス

4棟 1000 m²

作業所

1棟

○主要農業機械

軽トラック

1台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

(向井)

出身地 愛媛県大洲市

就農研修歴

愛媛県立農業大学校 (H26.4~H28.3)

(株)陽だまり (H28.4~H30.3)

(若宮)

出身地 愛媛県内子町

就農研修歴

農業大学校 (H23.4~H27.3)

(株)陽だまり (H27.4~H30.3)

(向井、若宮)

就農研修中に (株) 莓遊園を設立 (H30.1)。研修終了と同時に就農 (H30.4)。

(2) 就農時の思い

楽しくやりたい。他人がやらないようなことに挑戦したいという思いで、会社を立ち上げた。

就農1年目は苦労の連続だったが、相談できる相手がいることはとても心強かった。

試行錯誤したことが少しづつ成果に結び付き、自分たちのスタイルが出来上がって行く手ごたえを感じた。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

就農初年度に徹底して技術を身に着

けようと考え、いちごハウスを譲り受けた生産者を師匠として、栽培の基礎を学んだ。また、JAいちご生産部会のほ場巡回に同行したことで、近隣のいちご農家とも知り合うことができ、技術相談ができる人脈が広がった。

(2) 資金の準備

施設の取得に青年等就農資金等を活用した。未収益期間には、それまでに蓄えた準備資金を利用したほか、農業次世代人材投資事業を活用した。

(3) 農地・住宅の確保

就農研修時に、近隣で廃業するいちご農家の情報を得て、研修農家の仲介により、施設及び農地をスムーズに取得することができた。

また、近隣農家の紹介により、ほ場近くの住宅を借り受けて居住している。

(4) その他苦労したこと

就農初年度、いちごは冬まで売り上げがないため、収入がなく、現金不足に苦しんだ。

出荷調整時間の見積りが甘く、作業が非効率で疲労がたまつた。

5 農業経営の特徴

法人を作ったのは、2人が別々に就農するより、信用力確保などのメリットが多くかったため。

効率的な作業を心掛け、栽培管理方法を自分たちなりに見直している。省ける作業は省きつつ、重要な作業は適期を逃さないよう相談しながら進めている。

会計事務や労務管理などは専門家へ委託している。栽培管理に集中できる環境を確保。結果として、人件費が削減されるとともに、ゆったりとした作業環境を確保している。

6 これからの夢

収量を高めていくようステップアップしつつ、安定した経営を続けていきたい(向井)。

省力的でありながらも、品質にこだわり、「美味しいいちご」を作っていきたい(若宮)。

7 成功したキーポイント

事務作業を合理化することで、栽培管理に集中でき、大きな失敗が減った。

今後の経営方針等を相談できる相手がいることは大きな強み。

8 就農を目指す方へのアドバイス

就農するまでに、自分がどんな経営をしたいかしっかり考え、自分のを目指すスタイルを見つけておいてほしいです。

就農前の準備（技術・資金）をしっかりと進めていれば、チャンスを逃さないと思います。

○ 指導機関からのひとこと

向井さん、若宮さんとも研究熱心で、積極的に新技術を導入するなど所得向上に努めています。前向きに取り組む姿勢は、更なる経営発展につながると思います。将来、地域のリーダーとして活躍することを期待します。

執筆機関

中予地方局産業振興課地域農業育成室

電話番号 089-909-8762



ほ場での管理作業